

第122回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、第121回火山噴火予知連絡会（平成23年10月11日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成23年10月11日～平成24年2月29日）、霧島山（新燃岳）では噴火は発生しませんでした。火口内には依然として溶岩が蓄積しています。桜島、諏訪之瀬島及び硫黄島で噴火が発生しました。また、三宅島では多量の火山ガス放出が継続しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,500mで、大きな噴石が最大3合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が1回発生しました。

地殻変動観測では、桜島直下へのマグマの供給量が2011年秋頃から増加していると考えられます。また、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続する可能性がありますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

- ① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ③ 丸山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。2011年8月下旬から丸山周辺でみられていた地震増加は同年10月下旬頃には低下しました。
- ④ 大雪山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑤ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・地震活動、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いており、火山活動の推移に注意が必要です。
- ⑥ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・地震活動、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 - ・A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要です。
- ⑦ 倶多楽 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑧ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑨ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑩ 恵山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 秋田焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

めだけ

- ・女岳では、2009年から2011年9月にかけて地熱域の拡大が認められ、2011年12月に地熱域に対応する融雪域が確認されています。その後、女岳山頂北部、北東斜面、北斜面、南東火口、北西斜面及び山頂付近の地熱域の熱活動には特段の変化は認められませんでした。
- ・2011年12月27日12時34分に女岳の西側2km付近で、マグニチュード2.6の地震が発生し、仙北市で震度1を観測しました。この地震発生後、一時的に地震回数が増加しましたが、その後は収まっています。この地震による火山活動の変化は認められませんでした。
- ・地殻変動に特段の変化は認められません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

⑤ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・噴気活動はやや活発な状態が続いています。
- ・大穴火口では、2011年3月12日以降、夜間に高感度カメラで明るく見える現象がたびたび観測されましたが、2011年11月14日明け方を最後に観測されていません。
- ・2011年10月に火山性微動が5回発生しました。これらの火山性微動の発生に先立って或いは発生とほぼ同時に微小な傾斜変動が観測されました。火山性微動の発生前後で、噴気の状態、夜間に大穴火口が明るく見える現象、表面現象及び地震活動に特段の変化は認められませんでした。
- ・火山性地震は、2011年10月及び2012年1月はやや多い状況でしたが、それ以外は少ない状況となりました。

- ・地殻変動観測では、火山性微動発生前後の微小な傾斜変動を除き、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑨ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・湯釜火口付近や湯釜の南を震源とする振幅の小さな火山性地震が時々やや多く発生しました。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

⑤ 新潟焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]

- ・2011年10月5日(期間外)に弥陀ヶ原の南東約7km付近でマグニチュード5.4と5.2

(いずれも暫定値)の地震が発生するなど、弥陀ヶ原周辺で地震活動が一時活発化しました。

- ・立山室堂に臨時に設置した地震計による観測では、弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で推移しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスに注意が必要です。

⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、山頂直下から北麓～北西麓の浅い所で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでした。2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4(暫定値)、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データで異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。
- ・なお、富士山3合目(山頂の北西約6km)で、2012年2月10日にかすかな湯気が確認され、その後も時々見られますが、湯気の温度は10℃程度で、硫黄臭等は確認されていません。温度に変化はみられず、噴火活動と直接関係するものではないと考えられます。

⑫ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・GPSによる地殻変動観測では、2011年10月から伸びがみられましたが、2012年1月に入り伸びの傾向が鈍化しています。また、体積ひずみ計による地殻変動観測では、2011年11月中頃から停滞傾向がみられましたが、2012年1月に入り縮みの傾向がみ

られます。

- ・一方で、長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑮ 新島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑯ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。噴火は2010年7月21日を最後に発生していません。
- ・火山性地震は、2010年9月以降少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。一方、深部の膨張を示す地殻変動は続いています。
- ・二酸化硫黄放出量は緩やかな減少傾向ですが、2011年12月以降、1日あたり1,000トン程度の多量の放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑱ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑲ 青ヶ島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑳ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・島西部の旧火口(通称:ミリオンダラーホール)で2012年2月上旬にごく小規模な水蒸気爆発が発生しました。
- ・地震活動は2010年8月頃から比較的活発になっています。2006年8月からの島全体が隆起する地殻変動は、2011年1月末頃から隆起速度が増加していましたが、同年12月下旬頃から隆起傾向はやや鈍化しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

21 福德岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震及び孤立型微動は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。
- ・湯だまり量は9割で経過し、表面温度は46～58℃で低い状態でした。2011年11月17日まで時々噴湯現象を観測しましたが、その後認められませんでした。土砂噴出は確認されませんでした。
- ・南側火口壁の表面温度は170℃以下の低い状態で、温度分布にも特段の変化はありませんでした。
- ・二酸化硫黄の放出量は、一日あたり300～500トンと少ない状態で経過しました。
- ・その他の火山活動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡(中岳第一火口から西南西約6km)の噴気の勢いはやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

④ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

- ・2011年9月7日の噴火以降、噴火の発生はありませんでした。
- ・GPS観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は、2011年12月初め頃からやや鈍化し、2012年1月以降はほぼ停滞しています。
- ・傾斜計では、新燃岳直下の膨張を示す変化は認められませんでした。
- ・火山性地震はやや多い状態で経過しました。
- ・振幅が小さく、継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。
- ・二酸化硫黄の平均放出量は、1日あたり200～500トンでした。
- ・防衛省及び鹿児島県の協力を得て実施した上空からの観測では、新燃岳火口内に蓄積された溶岩の大きさ(直径約600m)や形状及び周辺の噴気の状態に特段の変化はなく、主に溶岩の北側及び東側から白色の噴煙が上がっていました。
- ・2011年10月以降、2008年8月の噴火時に形成された西側斜面の割れ目で、白色のごく弱い噴気と、赤外熱映像装置による観測で、やや温度の高い部分が確認されました。
- ・以上のように、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには相当量のマグマが蓄積さ

れていますが、現在はマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止していると推定されます。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、新燃岳直下の火山性地震の活動や火山ガスの放出も続いていることから、現在でも突発的に噴火が発生する可能性もあります。また、今後、深部からのマグマの供給が再開する可能性もあり、新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば新たな噴火の可能性もあります。

- ・新燃岳火口から概ね3 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・昭和火口の噴火活動は、爆発的噴火の発生回数が2011年10月91回、11月57回、12月125回、2012年1月172回、2月59回（20日まで）で、合計504回と活発な状態が続いています。これらの噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,500mで、大きな噴石が3合目（昭和火口から1,300～1,800m）まで時折達しました。また、2011年10月26日15時42分の噴火では、火砕流が同火口から東へ約200m流下しました。
- ・南岳山頂火口では、2011年12月及び2012年2月にごく小規模な噴火が発生しました。南岳山頂火口でごく小規模な噴火を観測したのは、2011年2月13日以来でした。
- ・2011年10～12月に噴火により放出された火山灰の量は142万トンと、前期間（7～9月：98万トン）に比べ増加しています。
- ・二酸化硫黄の一日あたりの平均放出量は1,200～3,200トンと、2011年9月以降やや増加しており、多い状態で推移しました。
- ・水管傾斜計による地殻変動観測では、2011年11月頃から山頂側が隆起する傾向が続いています。火山灰の放出量と地殻変動量から、マグマの供給量は、2011年8月頃より増加に転じた状態が続いています。GPS連続観測では始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による長期的な変化が引き続き観測されています。桜島島内では2011年9月頃からわずかに伸びの傾向が続いています。
- ・A型地震は2012年1月には月回数22回とやや増加しました。
- ・以上のように、桜島直下へのマグマの供給量は増加しており、噴火活動は前期間に比べ活発な状態となっています。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑦ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。
- ・2011年11月に実施した現地調査では二酸化硫黄の一日あたりの平均放出量は800トンとやや多い状態でした。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流

されて降る小さな噴石に注意が必要です。

⑧ 口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成23年12月15日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。平成24年1月20日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げました。

- ・火山性地震は2011年12月11日から多くなり、火山活動が高まった状態となりましたが、12月25日頃から火山性地震の回数は緩やかに減少し、1月5日以降は少ない状態で経過しています。
- ・遠望観測では、新岳火口の噴煙活動に特段の変化はなく、2011年12月に実施した現地調査でも、新岳火口やその周辺および古岳に特段の変化は認められませんでした。
- ・GPS観測では、新岳火口近傍にある観測点を含む基線で2010年9月頃から伸びの傾向が続いていましたが、2011年9月頃から鈍化しています。これは新岳火口直下の膨張と考えられます。
- ・2011年12月9日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり200トンでした。2012年1月12日及び13日に実施した現地調査では、一日あたり50トン及び100トンと、火山ガスの増加は認められませんでした。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・火山性地震及び火山性微動は2011年4月頃から少ない状態で経過しています。
- ・御岳火口では、今期間爆発的噴火を含む噴火が2回発生し、噴火活動は長期的には活発な状態が続いています。
- ・今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成24年2月29日現在、29火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	丸山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	大雪山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	秋田焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部・伊豆・小笠原	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

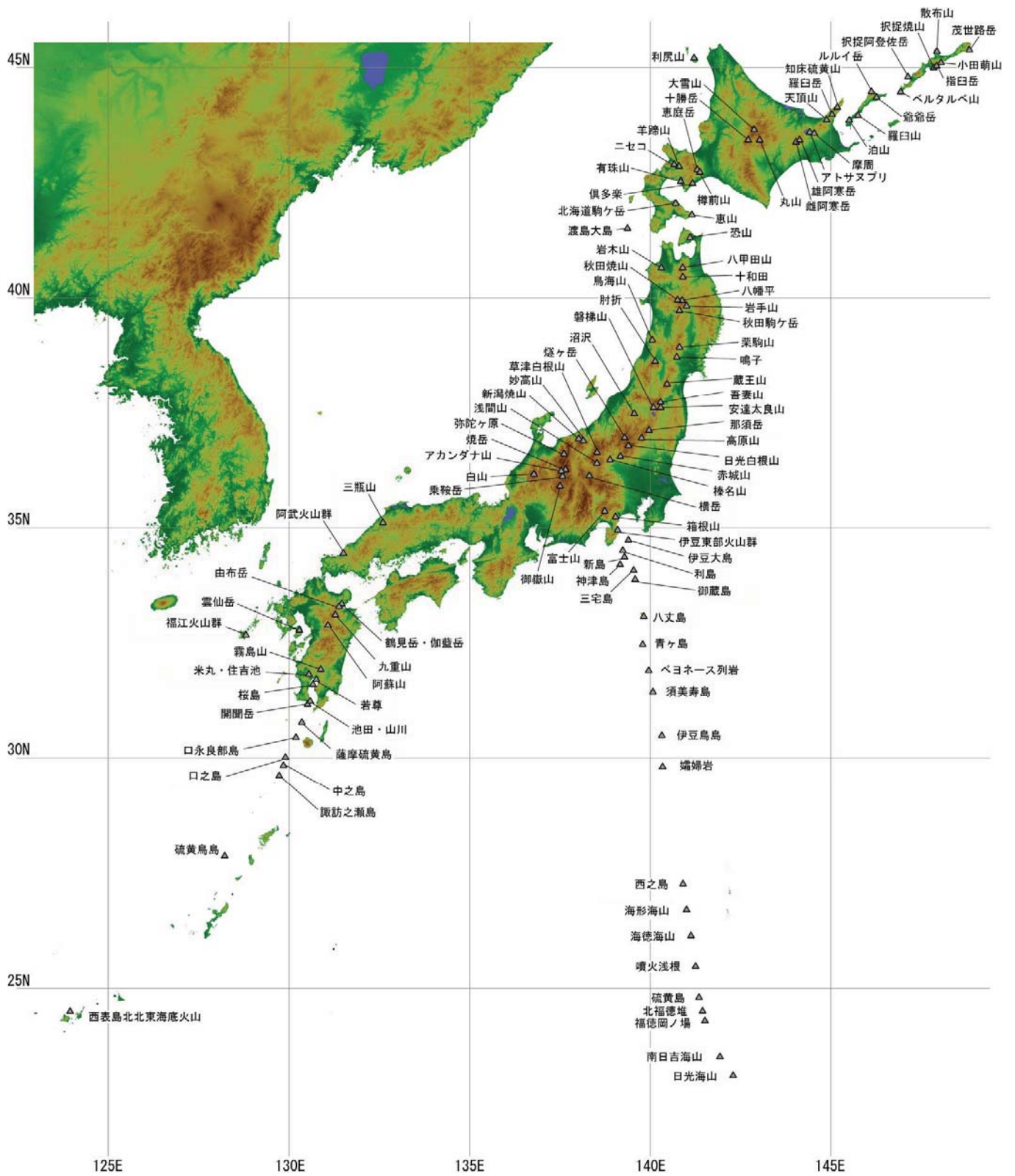


図 全国の活火山分布